

〈こども版〉 としょかんだより No.245

わくわく本だな 2004年 7月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

やだま 矢玉 しろう 四郎さんの本

矢玉さんは、^{どうわ}童話作家のほかに^{さくしか}作詞家や
まんが家、デザイナーなどいろいろな仕事をして
いて、七つの顔を持つ男といわれています。
「はれときどきぶた」は、^{えいが}アニメや映画にも
なっていて、大人気の作品です。

「じろきち おおかみ」(えほん) 岩崎書店

おおかみのじろきちは、山の中でまいごの女の子を見つけ、
家につれてかえりました。さっそくばんごはんにとべようとしたら、
おとうさんに「大きくそだててからくったほうがいい。」といわれます。



「やかんねこ」 岩崎書店

アキラが、草むらでみつけた大きなやかんは、
^{うちゅうせん}宇宙船でした。アキラは中にいたねこと
いっしょに空へとびたちます。

「でんきおばけしんがた」 岩崎書店

けんたの家族は、古くてすぐに動かなくな
るせんたくきやテレビにもんくばっかり。
すると、^{でんききぐ}電気器具たちが、とつぜんおばけに
なっておそってきたのです。

「おいしいの中のみこたん」 岩崎書店

みこたんは、くるねドロンをおいかけて、おいしいの中にはいりました。
中はまっくらで、ドロンの目だけが光っています。
その時、まわりにいたぬいぐるみたちがうごきたのです。



「はれときどきたこ」 岩崎書店



^{のりやす}則安は、社会科の時間に、町で「やぎしふ」というふしぎな^{だがしや}駄菓子屋を
見つけました。帰りにその店によると、むりやりへんなアメダマをかわされ、
それをたべてから、思ってもいないことを話すようになってしまいました。

「しゃっくり百万べん」 偕成社

しゃっくりが止まらなくなった^{はるお}晴夫は、なおしてもらおうと近くのいなり^{じんじゃ}神社に
おまいりに行きました。次の日、どんぶりからあらわれたきつねに
「しゃっくりが百万べん出ると死ぬぞ!」といわれました。

あたらしくはいった本

= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

えほん

「くまくん」 二宮 由紀子 / 作 ひかりのくに
くまくんは、さかだちをしてかんがえました。「ぼく、いまさかさまになっているから“まくくん”だ。」それをみた、りすやとら、かばたちもまねをしてさかだちをしてみました。さあ、何になったかな？



「シマリスのしまおくん」 あきやま ただし / 作 教育画劇
ある日、人間のしまおくんに、シマリスが声をかけてきました。なんと、しまおくんのお父さんだということです。そして、しまおくんやこの町の人たちはみんな、実は動物で、たぬきのじいさんに人間にしてもらったのだと言い出します。



ものがたり

「池のほとりのなかまたち」 ラッセル・ホーバン / 作 徳間書店
気分がしずんでおもしろくないヒキガエルのジム。カミツキガメのおじさんに会って話をしたり、イトトンボの幼虫ようちゆうが皮をぬぐところを見たり、ゲンゴロウのとびこみを見ているうちに、なんだか楽しくなってきました。
- 池のほとりでくらす小さな動物たちが出てくるお話が8つ -



「そらとぶこくばん」 ねじめ 正一 / 作 福音館書店
こくばんは、クラスの子どもたちにも、先生にも大事にされていません。「もういやだ、王様おうさまの食卓しょくたくになってやる！」と、ある夜、教室からぬけだし、お城しろをめざしてとびたちました。

「恐竜の耳かすをさがせ！ - へんてこ宝さがし1 - 」

三田村 信行 / 作 あかね書房
世界一の大金持ちカネモッチさんが、三つの宝たからものをさがしています。
賞金しょうきんがほしいピンチくんたちは、さっそくひとつめの“恐竜きょうりゆうの耳かす”をさがしに行くことにしました。
ところが、おそろしい男トツテコイ将軍しょうぐんが、その宝ものをよこどりしようとねらっていたのです。

「ぼくの・トモダチのつくりかた」

さとう まきこ / 作 ポプラ社

転校して1週間もたつのに、友だちができそうにありません。
おまけに泳げないのは、ぼくだけです。そんなぼくのピンチを
救ってくれたのは、うすよごれた毛布のような犬でした。



「魔法のこねこ ゴブリーノ」

アーシュラ・ウィリアムズ / 作 福音館書店

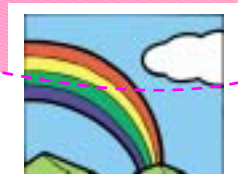


魔法ねこから生まれたゴブリーノのゆめは、ふつうのねこになることです。
人間にいじわるな魔法をかけるねこにはなりたくありません。
そこで、自分を飼ってくれる家をさがして、旅に出ました。
農家、船のり、人形一座など、みんな最初はやさしく飼って
くれました。でも、ちょっとだけ魔法が使えるせいで、ゴブリーノ”は
きらわれ、どこへいっても追い出されてしまいます。

「虹を下から見上げたら」

山口 理 / 作 国土社

やぶチョーズ4人組は、転校する亮介のねがいをかなえるために、
虹のはじを見に行く計画をたてました。とちゅうで出会った
風変わりなおじいさんに「おれについてくればいい。」といわれ
いっしょに出かけます。



「ピュア・デッド・マジック -うちの家族はチョー魔法-」

デビ・グリオリ / 作 評論社

不気味な古城に住むストレーガ家は、魔法学校にかようママと、
三人の子どもたち、冷凍保存されているおばあちゃん、
そして人食いワニなどがいっしょにくらす不思議な家族です。
その家に、新しいベビーシッターがやってきました。
ママは、ふつうの人だと思っていますが、じつは魔女だったのです。

ちしきの本



「はかってあそぼう 量と測定」 -こうすれば好きになる あたらしい算数-

横地 清 / 監修 鈴木出版

手の大きさはどうやってはかる？ リンゴとバナナはどっちが重い？
かわった形のもので、工夫して大きさや重さを測ることができます。
また、自分の体を単位にした“自分ものさし”を作って、
いろんなものの長さを測ってみるのもおもしろいですよ。

しいたい しらべたい



夏の暑い日、雨もふっていないのに
道路の先がぬれて水たまりのように見える
のは、どうしてですか。

次の本などで調べることができます。

- 「調べ学習・自由研究に役立つお天気まるわかりBOOK」 成美堂出版
- 「天気のことがよくわかる本」 西東社
- 「地球・気象 - ニューワイド学研の図鑑 - 」 学研

シリーズしょうかい



「リンゴちゃんのおはな」 角野 栄子/作 ポプラ社

リンゴちゃんは、なんでもいちばんが大きいです。リンゴちゃんとマイちゃんと
チャンピオンくんがおはなのたねをうえました。だれのおはながいちばん大きくなるかな？

「ネコのタクシー アフリカへ行く」 南部 和也/作 福音館書店

ネコのトムの前に、とつぜん父親だというネコがあらわれ、
アフリカに住むサルさるの王様おうさまから手紙をあずかってきたというのです。

「ムジナ探偵局本日休業」

富安 陽子/作 童心社

夜の公園でふしぎな話し声を聞いた源太げんたは、
ムジナさんに相談そうだんにいきましたが、留守るすでした。

「かえってきた名探偵」

杉山 亮/作 偕成社

ミルクキーが、はたらいている保育園で、
赤いペンキをぬったブランコが、
ひと晩で、青くぬりなおされている
事件がおきました。

「つるばら村の家具屋さん」

茂市 久美子/作 講談社

つるばら村の青木家具店に、きょうもふしぎなお客さんがやってきます。キツネ、ウサギ、
山の精・・・注文する家具には、どれもひみつがありました。

「ゆうれい船の宝さがし」

杉山 径一/作 PHP研究所

邦男くにおたちの知り合いの探偵さんたんていのところへ、ガイコツの絵のファックスが送られてきました。

7 がつ

おやすみのひ

7月 1日(木)

7月 5日(月) 7月12日(月)

7月19日(月) 7月26日(月)